

農政学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 田中裕人・五條満義

◆学習・教育目標

本演習では、農林業や環境に関して、経済学による考え方を学ぶ。農林業は一般に外部効果を発揮する機会が多い。そのため、特に農林業や環境を対象として、外部効果がある場合の経済分析について学ぶ。

本演習では、環境経済学や農業経済学に関して広く学ぶことを目的とするが、学部レベルの知識を必要とする。そのため、受講希望者は、これらの基礎を理解していることが望ましい。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

環境経済学 _____ 農業経済学 _____ 多面的機能 _____ 外部効果 _____
 地球温暖化 _____ 公害 _____ バイオマス _____ 環境税 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス	ガイダンスを実施する。	理解できるまで予習・復習を行う。
2	環境経済学について(1)	環境経済学の基礎的内容を理解する。	理解できるまで予習・復習を行う。
3	環境経済学について(2)	環境経済学の基礎的内容を理解する。	理解できるまで予習・復習を行う。
4	環境経済学について(3)	環境経済学の基礎的内容を理解する。	理解できるまで予習・復習を行う。
5	環境経済学について(4)	環境経済学の基礎的内容を理解する。	理解できるまで予習・復習を行う。
6	環境経済学について(5)	環境経済学の基礎的内容を理解する。	理解できるまで予習・復習を行う。
7	農林業の多面的機能(1)	農林業の多面的機能に関する経済学的分析。	理解できるまで予習・復習を行う。
8	農林業の多面的機能(2)	農林業の多面的機能に関する経済学的分析。	理解できるまで予習・復習を行う。
9	多面的機能の分析方法	多面的機能の分析方法について理解する。	理解できるまで予習・復習を行う。
10	バイオマス	バイオマスに関する経済学的分析。	理解できるまで予習・復習を行う。
11	地球温暖化	地球温暖化に関する経済学的分析。	理解できるまで予習・復習を行う。
12	公害	公害に関する経済学的分析。	理解できるまで予習・復習を行う。
13	公共事業	公共事業に関する経済学的分析。	理解できるまで予習・復習を行う。
14	環境税	環境税に関する経済学的分析。	理解できるまで予習・復習を行う。
15	試験	試験を実施する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

環境資源経済学入門/小林弘明・廣政幸生・岩本博幸/泉文堂（2007）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

統計学から始める計量経済学/ / ()

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

試験で全て評価する。ただし、理由なく欠席をするたびに減点する。

◆その他受講上の注意事項

学部レベルの環境経済学・農業経済学の知識を前提として授業を進めます。また、パソコンを利用する場合があります。